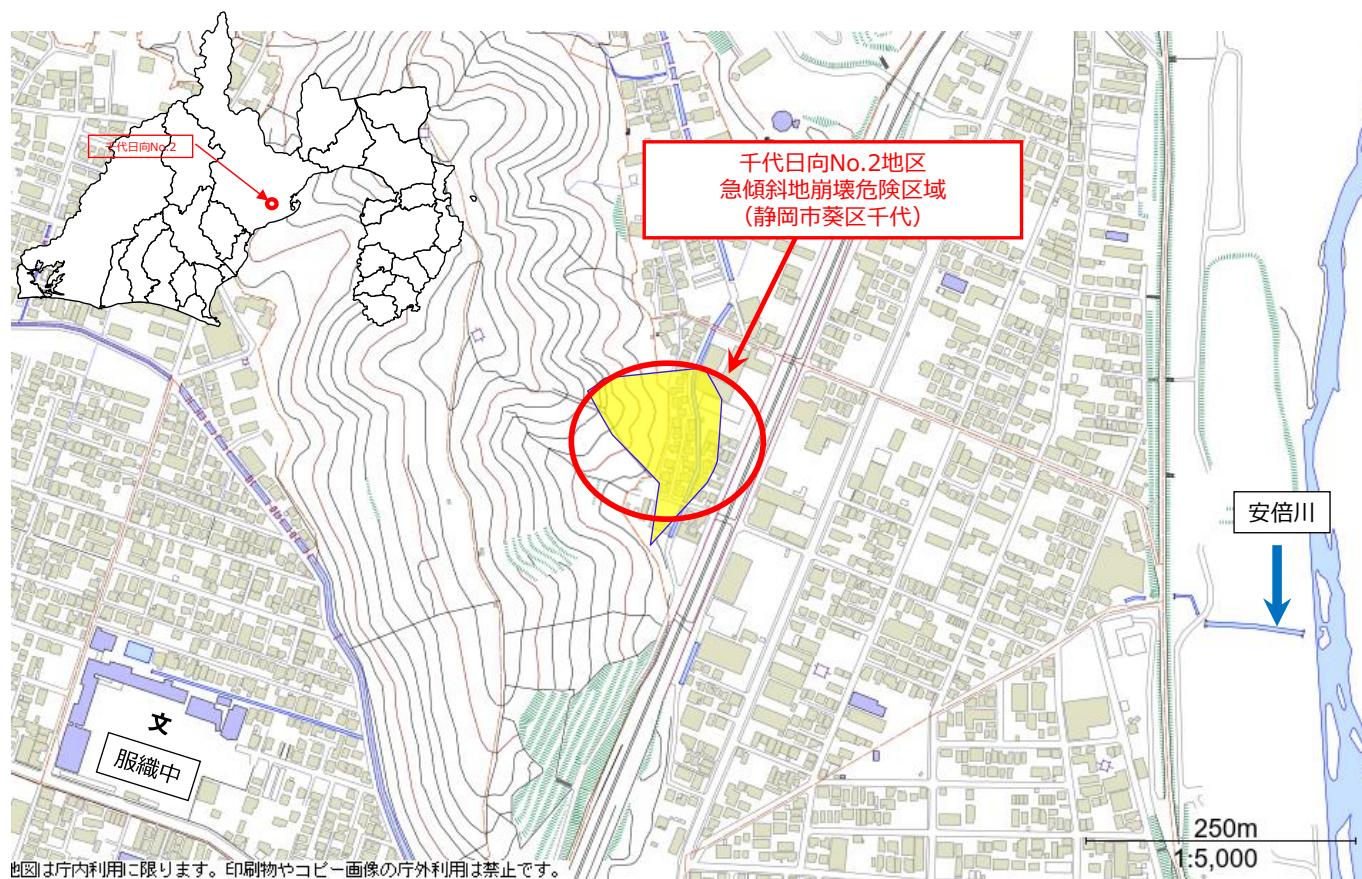


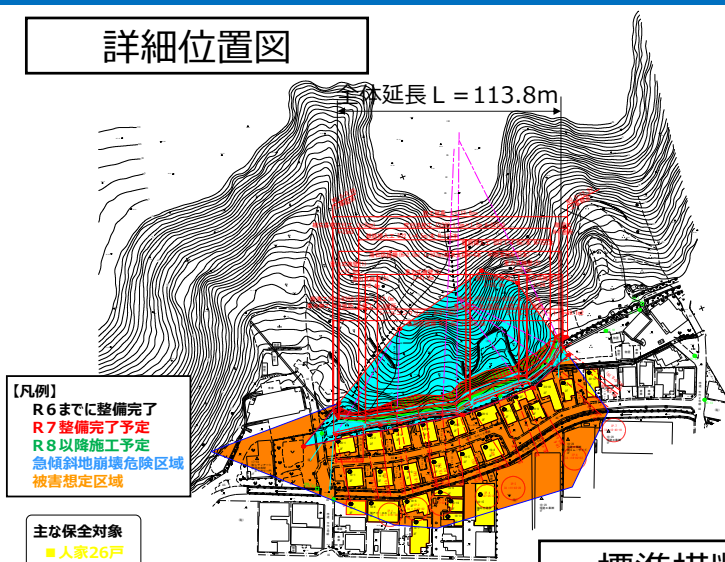
番号	21	令和8年度公共事業再評価調査				担当課名	砂防課																														
事業名	急傾斜地崩壊対策事業				事業主体	静岡県																															
箇所名	せんだいひなた 千代日向No.2				関係市町	静岡市																															
事業採択年度	令和4年度		計画期間	令和4年度～令和11年度																																	
用地着手年度	令和6年度		工事着手年度	令和7年度																																	
再評価理由※	事業着手(R4)後5年が経過																																				
全体事業費	百万円 287	投資状況 (百万円)	～R6年度 34	R7年度 73	R8年度見込 50	計 157																															
事業概要	(1)事業目的 千代日向No.2地区は、静岡市に位置し、保全対象として人家26戸と市道を含む急傾斜地である。 当該地区の斜面は荒廃し、豪雨等によるがけ崩れの発生により甚大な被害が懸念されるため、急傾斜地崩壊防止施設を整備し、住民の生命を守るものである。 (2)事業内容 全体延長 114 m 擁壁工 109 m																																				
【視点1】	(1)事業を巡る社会経済情勢等の変化 近年、局地化、集中化した豪雨が頻発化し、甚大な土砂災害が多く発生しており、災害に強いまちづくりのための地震・風水害の対策へ高い期待が寄せられている。 事業着手した令和4年度からこれまでに静岡市内では86件の土砂災害が発生している。 当該地区では、がけ崩れの発生により、人家、市道及び事業所（地域経済の保全）等に被害が及ぶことが懸念されるため、急傾斜地崩壊防止施設を整備する必要がある。 (2)事業の投資効果 ○費用便益分析結果（令和8年度時点） <table><tr><td>B/C (i=4%)</td><td>参考:B/C (i=2%)</td><td>参考:B/C (i=1%)</td><td>EIRR</td></tr><tr><td>18.2</td><td>29.8</td><td>39.5</td><td>29.7%</td></tr></table> - 総便益 (B) 43.4 億円（平均便益：2.4億円） - 総費用 (C) 2.4 億円（建設費：2.3億円、維持管理費：0.05億円、用地残存価値：0.03億円） ○見込まれる効果（定性的な効果） - がけ崩れによる甚大な被害の防止 (3)事業の進捗状況（令和8年度見込み） <table><tr><th>区 分</th><th>進捗率</th><th colspan="2">内 訳</th></tr><tr><td>事業費</td><td>54.7%</td><td colspan="2">(157 百万円 / 287 百万円)</td></tr><tr><td>事業量</td><td></td><td colspan="2"></td></tr><tr><td>擁壁工</td><td>0.0%</td><td colspan="2">(0 m / 109 m)</td></tr><tr><td>用地取得</td><td>100.0%</td><td colspan="2">(4,434 m² / 4,434 m²)</td></tr></table> <table><tr><td>評価</td><td>継続が妥当</td></tr></table>							B/C (i=4%)	参考:B/C (i=2%)	参考:B/C (i=1%)	EIRR	18.2	29.8	39.5	29.7%	区 分	進捗率	内 訳		事業費	54.7%	(157 百万円 / 287 百万円)		事業量				擁壁工	0.0%	(0 m / 109 m)		用地取得	100.0%	(4,434 m ² / 4,434 m ²)		評価	継続が妥当
B/C (i=4%)	参考:B/C (i=2%)	参考:B/C (i=1%)	EIRR																																		
18.2	29.8	39.5	29.7%																																		
区 分	進捗率	内 訳																																			
事業費	54.7%	(157 百万円 / 287 百万円)																																			
事業量																																					
擁壁工	0.0%	(0 m / 109 m)																																			
用地取得	100.0%	(4,434 m ² / 4,434 m ²)																																			
評価	継続が妥当																																				
【視点2】	今後の事業の進捗の見込み 用地取得について、令和6年度に完了し、令和7年度から工事を計画的に推進しており、令和11年度の完成が見込まれる。 <table><tr><td>評価</td><td>継続が妥当</td></tr></table>							評価	継続が妥当																												
評価	継続が妥当																																				
【視点3】	新たなコスト削減・代替案立案等の可能性 今後、工事を進めるうえで、現場発生土について、工事間流用（他工区の補強土壁工への使用等）の検討を行い、コスト削減に努める。																																				
対応方針（案）	(1)対応方針（案） 本事業を【 継続 】する。 (2)理由 本事業は、急傾斜地の崩壊による被害を未然に防止するものである。近年、県内でも甚大な土砂災害が発生しており、地元の期待も大きい。さらに、費用対効果も見込まれ、今後の事業進捗が見込まれることから、事業を継続する。																																				

1. 事業箇所位置図



2. 事業概要

詳細位置図



事業目的

千代日向No.2地区は、静岡市葵区に位置し保全対象に人家26戸を含む急傾斜地である。当該地区の斜面は荒廃し、豪雨等による崩れの発生により甚大な被害が懸念されるため、急傾斜地崩壊防止施設を整備し、住民の生命を守るものである。

事業内容

箇所名：千代日向No.2（静岡市葵区千代）

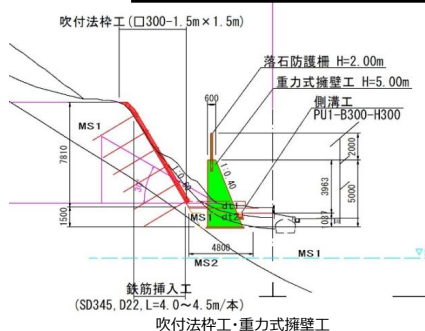
事業費：287百万円

計画期間：令和4年度～令和11年度

全体延長：113.8m

事業内容：重力式擁壁工 延長109.0m
吹付法枠工 延長113.8m

標準横断面図



3. 事業概要

前回からの変更点・理由

区 分	前回 (R4)	今回 (R8)	主な変更理由
①計画期間	R4～R8	R4～R11 (+3年)	所有者の特定が困難な未相続地が多く確認され、境界立会及び用地交渉に時間を要したため。
②全体事業費	247百万円	287百万円 (+40)	人件費・資材及び土砂処分費高騰のため。

4. 事業の投資効果（費用便益比）

事業の投資効果（費用対効果の検証）

総便益 (B)

総便益 43.37億円

- ☐ 直接被害
 - ・家屋被害、道路被害、人的被害
- ☐ 間接被害
 - ・精神的被害

総費用 (C)

総費用 2.39億円

- ・建設費
- ・維持管理費



費用対効果(B/C):18.15 経済的内部収益率(EIRR):29.7%

前回の費用対効果(B/C):15.2

・「砂防事業の費用便益分析マニュアル」の改定に伴い、人的被害額の精神的損害額が2.26億円/人⇒6.01億円/人に上げられたため

5. 今後の事業の進捗の見込み

●事業推進のための今後の取組

- ・建設発生土の有効利用を検討し、事業費の縮減に努める。
-